

於:品川インターシティホール

平成29年11月27日(月)

公開シンポジウム  
第1部 妊娠期からの切れ目ない児童虐待予防

**支援を要する妊婦への個別保健指導**  
大阪母子医療センターでの取り組み

地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター  
母性外来 看護師長 和田聡子



妊娠するなんて  
思ってもみなかった

うれしいんだけど  
なんだか不安

仕事は  
どうしたらいいの

いつ産まれるの  
何を準備したらいいの

お金が  
かかるんじゃないの？

体調がすぐれない  
つわりっていつまで？

誰に何を相談すれば  
いいの？

育てていけるのかしら



## 産科診療の場では、 しばしば…

産科医学的なことだけでなく、  
出産・育児について関わる妊婦の背景や  
生活状況、家族などについても、  
広く深く相談を受ける

「この妊婦さん、なんとなく**気になる**…」

チームで対応  
その後の連携の仕組み  
一連の流れをつくる

**1. 支援を要する妊婦に気づく工夫**

**2. 支援を要する妊婦へ**

**保健指導を通してのかかわり**

**3. 支援のためのシステムづくり**

## 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫



この妊婦さん  
なんとなく気になる

**個人の感覚も大事だけど、  
みんなで気づくことができるようにする  
→業務化**

- 問診票
- VAWS（DVスクリーニング）
- 個別相談
- 看護記録の統一

# 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫

## 初診時の様子

- ① 問診票の記載
- ② 個別相談（診察前）
- ③ 医師の診察
- ④ エコー検査
- ⑤ 個別相談（診察後）

個別相談での状況について  
適宜医師・診察介助者に伝え  
情報共有する

問診票に基づいてお話を聴いていく

例えば…

ひらがなが多い、空欄が多い、覚えていない

全体的な印象をみる

例えば…

目線・表情・話し方・服装・同伴者

診察の結果を受けて

- 医師の説明をどう理解しているか
- 心配なこと、相談したいことはないかを聴く
- まずはすべてを受け入れる
- いつでも相談に来ていいことを伝える

# 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫

**問診票⇒言い出しにくいことを書きやすくする工夫  
話題（相談）のきっかけになる項目を工夫**

- ✓ 既往歴で精神疾患等は書きづらいことが多い  
→ 記載例に精神疾患を載せることで少し書きやすくする
- ✓ 妊婦自身の生育や生活について語れる場を作る
- ✓ 問診票は記載後回収して終わらない  
→ 空欄なくすべて記載していても、必ず言葉で問診をとる  
→ 「話してくれてありがとう」

**初診の問診は関係をつくる貴重なタイミング**

**問診票は話の“きっかけ”にすぎない**

これまでにかかった病気等について教えてください。

年(歳)	病気等	治療
18歳	パニック	内服
27歳	うつ	入院

## 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫

**個別相談で大まかな情報を得る**（社会的リスクを把握）

- ✓ 望んだ妊娠かどうか
- ✓ パートナーとの関係に問題はないか
- ✓ 実母との関係性に気がかりはないか
- ✓ 親や家族や職場へ妊娠の話をしているか
- ✓ 現在の生活の状況に気がかりはないか
- ✓ 過去も含めて精神的な問題を抱えていないか
- ✓ 経済的な心配はないか

# 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫

## 助産師・看護師による個別面談

妊娠おめでとう  
よく来てくれました

妊娠に気づいた  
のはいつ？  
どう思った？

パートナーは  
なんて言ってる？

それは大変なん  
じゃない？  
どうしてるの？

妊娠してるだけでも  
しんどいのに  
よく頑張っていますね

# 1. 支援を要する妊婦に気づく工夫

パートナーとの関係を知る

## 妊婦全員にDVスクリーニング

「女性に対する暴力スクリーニング尺度  
(Violence Against Women Screen : VAWS)」<sup>1)</sup>

1回目

初診時

2回目

妊娠中期(28w頃)

3回目

産褥1日目

- 全員に実施し、時期による変化をみる
- 初診時・28週・産褥1日目(入院中)・産褥1か月
- 点数はあくまでも目安であり、話は本人の主観である
- 点数化して終わるのではなく、必ず話をきく

1) 日本助産師会 聖路加看護大学 女性を中心にしたケア研究班,  
EBMの手法による周産期ドメスティック・バイオレンスの支援ガイドライン, 金原出版株式会社, 2004.

**1. 支援を要する妊婦に気づく工夫**

**2. 支援を要する妊婦へ**

**保健指導を通してのかかわり**

**3. 支援のためのシステムづくり**

## 2. 支援を要する妊婦へのかかわり

- ✓生まれてくる赤ちゃんの「お母さん」としてではなく  
一人の女性として「あなたのことを支援したい」

ことを伝える

- ✓保健指導を通して

「専門家としてあなたの身体のことを大事にしたい」

というメッセージを伝える

## 2. 支援を要する妊婦へのかかわり

✓ 担当者を決めて

**信頼関係をつくる**

✓ 妊婦の抱えている問題に、

**妊婦と同じ視線で向き合う**

✓ 受診が途切れがちなら電話や手紙で、

**待っていること伝える**

✓ 信頼関係は大事だが、

**依存関係にはならない**

✓ 時には担当者を複数にし、

**役割を変えて対応する**

**1. 支援を要する妊婦に気づく工夫**

**2. 支援を要する妊婦へ**

**保健指導を通してのかかわり**

**3. 支援のためのシステムづくり**

### 3. 支援のためのシステム

システム①

## カルテ記録の工夫 電子カルテ上、看護記録のテンプレートを作成

#### ✓標準化

個別の話は長文になりやすいが、  
一定の能力があれば誰もができるように

#### ✓体系化

必要な情報を漏れなく。  
個別相談での保健指導項目に合わせて  
作成している。

#### ✓一目でわかる化

長文を読まずとも、記号やアイコンで一目瞭然  
急な受診や電話の際にも背景をすぐ把握する

The screenshot shows a software interface for creating a medical record template. At the top, there are fields for 'カルテ番号' (Chart No.), '患者氏名' (Patient Name), and '分娩日' (Delivery Date). Below this, there are several tabs and sections: '社会的チェックリスト' (Social Checklist), '助産外来' (Midwife Outpatient), 'ふれあいエコー' (Fureai Eco), and 'グリーンケア' (Green Care). The main area contains numerous checkboxes and dropdown menus for recording clinical data, such as '初産婦' (Primipara), '経産婦' (Multipara), '入院' (Inpatient), and '計測好否' (Measurement Status). There are also sections for 'BMI' (Body Mass Index) and '産後外来' (Postnatal Outpatient). At the bottom, there are buttons for 'クリア' (Clear), 'キャンセル' (Cancel), and 'カルテに連携' (Link to Chart).

妊支 育支



### 3. 支援のためのシステム

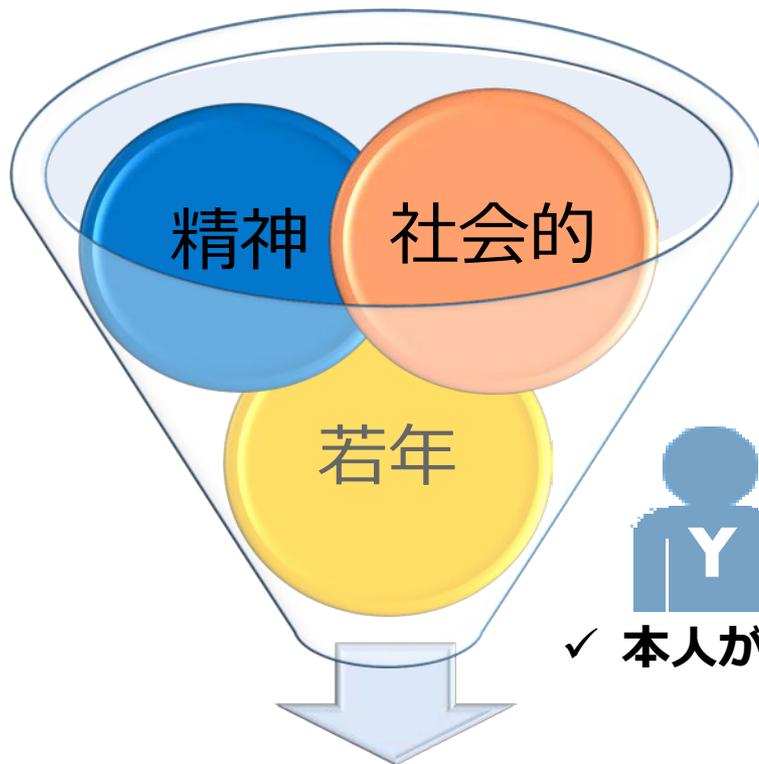
システム②

情報を共有し、支援の方向性を統一するためにリストアップする



- ✓ 心療内科・精神科の受診歴または内服歴
- ✓ 本人からの精神疾患既往の申告

社会的ハイリスク妊婦



- ✓ 生活保護受給
- ✓ 助産制度利用
- ✓ DV
- ✓ 未受診, シングル
- ✓ なんとなく気になる



- ✓ 本人が18歳(高校生)以下

**リストアップ**

### 3. 支援のためのシステム

#### システム③

## 社会的ハイリスク妊婦ワーキンググループ で活動する

- 患者をリストアップし、  
情報の共有・方針の確認

- 多部門・多職種に参加

産科医師

小児科医師

公衆衛生医師

院内の保健師

医療ソーシャルワーカー

看護師・助産師 ← 外来・分娩部・産前病棟・産褥病棟



# 私たちにできること

頼って  
いいんだよ

頼って  
いいんだ！



- ✓ 医療機関でしか把握できないことがあるが、  
医療機関でできることは限られる



- ✓ 医療機関で終わらず、生活の場（家族、地域社会）  
に支援をつないでいかななくてはならない



- ✓ 医療機関も、保健も、福祉行政も、  
妊婦さんにとって自分たちの得になるように  
利用してほしいというメッセージを伝える